

シリーズ 聞く

KSks ARCHEでは、北播磨での市民活動にご理解いただき、支援されている方、あるいは活動されている方々に対し、シリーズ「聞く」と題してインタビューを行って参ります。第1回目は、平成16年6月18日に蓬萊 務 小野市長にインタビュー致しました。



小野市 蓬萊 務 市長

■質問 NPO法人北播磨市民活動支援センターは、北播磨の4市8町を中心に活動しておりますが、蓬萊市長にとりまして、北播磨地域の魅力とは何だとお考えですか？

●蓬萊市長 北播磨地域は非常に自然豊かな地域で、北部には「千が峰」などの高峰連なる緑豊かな地域が広がり、南北を貫流する県下最大の河川「加古川」の流域を中心とする美しい水辺空間など、自然の景勝地にも恵まれています。また、日本の中心線である135度子午線が南北を貫いています。気候は温暖で、自然災害もほとんどない非常に恵まれた自然環境の中にあります。また、道路網についてみると東西に中国自動車道、山陽自動車道、南北には舞鶴自動車道が通り、大阪、神戸、岡山、また淡路を経由しての四国地域へのアクセスも非常に便利です。私は、「3本の川」を基軸にこの地方を考えています。一つは、「rail way」加古川線、二つ目は「road」国道175号線、三つ目は「river」加古川であり、この3つのRを川にたとえ道路、水路、鉄道と非常に利便性のある

地域です。その他に、歴史的な文化財（国宝3点・重要文化財20点など）も非常に多く残されておりまさに文化財の宝庫といえます。また、4市8町のそれぞれの地域特性を生かした特産物もあり、最近では、吉川のかたん・滝野のぼかぼ・小野の白雲谷温泉ゆびか等温泉も各地にでき、播磨中央公園、北播磨日時計の丘公園、小野市ひまわりの丘公園など大人も子供も楽しめるレクリエーションスポットも盛りだくさんとなってきました。そんな状況のなかで、北播磨を訪れる交流人口（入込み客数）が、平成14年度1000万人を突破し、入込み客数の増加率は北播磨地域が県下一位。さらに、市町別増加率は小野市が91.3%と大幅な増加をみました。以上のことから、この北播磨地域はあらゆる面でポテンシャルが非常に高い地域とみることができそうですが、今はまだそのポテンシャルを十分に活かし切れていないのではないのでしょうか？北播磨地域は、まだまだ未知の可能性を秘めた地域だと考えます。

■質問 蓬萊市長の基本方針の中に「新たな創造と変革にチャレンジする」ということがあり、NPO法人北播磨市民活動支援センター（クスクスア

ルシェ）にうるおい交流館の管理運営を全面委託したこともその一環と捉えています。その理由をお聞かせください。

●蓬萊市長 現在小野市の市政の取り組みは、行政も経営という観点から、「顧客満足度志向」「成果主義」「オンリーワン」「先手管理」という四つの柱を行政経営戦略としています。また、平成16年度の小野市の方針は、「3Cの更なる展開」を掲げています。3Cとは、CUSTOMER SATISFACTION（顧客満足度を向上させるために創意工夫を凝らし、行政の経営戦略を構築する）COLLABORATION（市民参加型社会の創造を目指した仕組みを構築し、市民と共に新たな協働による成果を追求する）CHALLENGE（前例踏襲型からの脱却、且つ、固定観念にとらわれない新たな創造と変革にチャレンジする）。顧客満足度志向とは、市民を顧客と捉えたサービスの向上ですが、行政がそのすべて担えるというものではなく、価値観の多様化により、住民のニーズも多種多様であり、受動的にサービスを受けたいという人もいれば、自ら行動したいという人もいます。市民に対するサービスは行政がするのが当たり前という市民意識と、行政が行うことによって市民が満足するという行政の考え方を改めていかなければなりません。うるおい交流館の建設も、市民活動の拠点となる施設をつくってほしいという市民からの要望もあり、自らが欲することを自らが実現する、自己責任と自己実現のための行政からの支援、仕組みづくりへのチャレンジと考えています。この度、クスクスアルシェへうるおい交流館の管理運営をお任せすることにしたのは、市民活動の拠点として、活動される方自らがすべて管理運営できるよう、新たな顧客満足度を追求した結果であり、従来からの行政のやり方からすれば、他には例のない初めての思い切ったチャレンジであると考えております。

■質問 クスクスアルシェに期待するところをお聞かせください。

●蓬萊市長 協働と参画のまちづくりについての取り組みは、小野市でも、小野まつり、きらら通り、ひまわりの丘、里山、福祉ボランティアなど、多くの人が参画した取り組みが始まってはいるが、住民の意識に温度差があることもまた事実です。



これからのまちづくりは、市民参加型のまちづくりが主流になっていきます。イベントなどの「ことおこし」特産品などをつくる「ものおこし」それらを支える「人おこし」が三本柱となります。「ことおこし」はできても「人おこし」が難しい。まちづくりは、地域の方が気軽に参加できる環境をどう整えるかが重要であると考えます。そこで、うるおい交流館を拠点とした、クスクスアルシェの知恵を集結した取り組みに期待をしています。今までの第三セクターのような取り組みではなく、PPP（Public, Private, Partnership）行政、企業、団体、市民、NPOなど多様なセクターとの連携により地域に求められる公共サービスを構築することであると考えます。このようなことを踏まえてクスクスアルシェには、領域を超えた「感動」を与えられるもの、生涯学習・青春の拠点、公共のサービス産業の拠点であること、そして能動的に活動する人を育て、支援していける拠点になることを期待しています。

●託児委員会 宮脇 京子

私達託児委員会のメンバーは現在12名で、三木・加東・小野と、この北播磨地域で子育てサークルや託児サークルまた、保育士、看護師として活動中の女性ばかりのグループです。そして男性の参加を多めに期待しています。さて、昨今この兵庫県においても幼児期における子育ての条件や環境を整備して、そこで情愛がかよひ合う活動を進めていくことが大切であるという考えのもと、様々な子育て支援活動がおこなわれています。そしてこの市民活動支援センター内のできる託児室こそ、その役割を担っていただける様、私達メンバーはその活動内容を検討しています。まずは、ハートフルサロンやホール事業への参加者や活動支援センターの会議への出席者のお子様を預かることから始めたいと考えています。「預けてよかった!」「またお願いしたい。」そんな気持ちになってもらえるような空間作りを目指しています。子育ては親だけの責任・母親だけの責任ではありません。社会で子どもを育てるという視点で私達は子育て支援活動を行っていきたくと考えています。自分で感じて考えて行動する子ども。子ども達の力を信じる大人。自分でできることは自分で必要な時は黙っていても協力する支え合いのコミュニティ。

こんな子育ての原点がこの託児室から広がればいいなあと思っています。仲間をどんどん増やしたいと思っておりますので、興味や関心のある方は、私達と一緒に楽しく子育てできる地域作りに関わってみませんか！

●喫茶委員会 田中 佳代子

おいしくて手ごろなおしゃべりを愉しんでいただけるカフェをめざしています。おしゃれな時間と空気を感じ、地域の手作りのあたたかい気持ちのあったケーキでお迎えしたい気持ちでいっぱいな委員会です。

●ガーデニング委員会 田中 佳代子

人と街を花で結び、「心の豊かさ」を花の香りと色で表現するグループです。まち全体を香りいっぱい、緑いっぱい、季節感いっぱい心を花で飾りたい!地域のリーダーさんと委員会メンバー、そしてボランティアさんの連携プレーで街を華やかにすることから地味な草抜きやメンテナンスまで考えていきたいと思います。そして、心の種まきも忘れないグループです。

●夢発信委員会 西村 のぞみ

「夢発信ってどんな夢？」

わたしたちの町に、上質な音楽や演劇とじかに触れ合える文化の拠点が誕生します。図書館の隣の建設現場。ここに来年の3月、500席のエクラホールがオープンします。一歩足を踏み入れると、仕事や子育てから解放される贅沢な空間。舞台にはスタインウェイのピアノが置かれ、ゆったりした背もたれ椅子に腰掛ければコンサートの始まりです。モーツァルトやショパンの音楽が心地よく響き、潤いた心をやさしく包み込んでくれるでしょう。コンサートの後は、コーヒーの香りに誘われて喫茶コーナーへ。感動の余韻に浸りながら、お友達とおしゃべりを楽しんで頂けたら…。そんな夢のある空間をこの町に育てていきたい。そう思って立ち上がったのが、私たち「夢発信」委員会のスタッフです。エクラホールから何が生まれ、何が育っていくのか。きっと、この町に暮らす私たちの願いそのものが写し出されていく事でしょう。初めて聞いたナマのピアノに感動して音楽家目指す子も出てくる事でしょう。そんな出会いの場となるように、みなさんの声に耳を傾けながら知恵を出し合っていきたいと思っています。

アイデア募集 あなたの夢を応援します。

平成17年3月20日オープンするエクラでは、みなさんののたのしい企画を募集します。多くの人に演奏を聴いてほしい!写真、絵画、陶芸など展示してみたい! などなど、あなたの才能を発揮する場がここにあります! みなさんが主役となって、空間をプロデュースしてみませんか? お気軽にお電話ください!

●問い合わせ NPO法人 北播磨市民活動支援センター
電話0794-63-8156
E-mail:shiense@ksks-arche.jp